

## <株式会社エフエム東京 第383回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成 23 年 11 月 8 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内 0 名)

### ◇出席予定委員(5名)

青 池 慎 一 委員長 渡 辺 貞 夫 委員  
内 館 牧 子 委員 香 山 リカ 委員  
西 田 善 太 委員

### ◇欠席委員(2名)

横 森 美 奈 子 副委員長  
秋 元 康 委員

### ◇社側出席者(10名)

富木田 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
黒 坂 常務取締役  
石 井 常務取締役  
平 取締役営業局長  
藤 取締役マルチメディア放送事業本部長  
長 澤 常勤監査役  
小 林 執行役員編成制作局長  
延 江 編成制作局局次長 兼 番組制作部長  
森 田 編成制作局局次長 兼 編成部長

### ◇社側欠席者(0名)

【事務担当 小林放送番組審議会事務局長】

4. 議題:  
番組試聴「ディア・フレンズ」(約 19 分)  
2011 年 10 月 3 日(月) 11:00~11:30 放送

## 《議事内容》

### 議題1:最近の活動について

#### ◎三菱商事 presents FM FESTIVAL 2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」

JFN38 局では、FM メディアの価値向上を目的に 1972 年より毎年、特別企画「FM フェスティバル」を実施しています。昨年度より、若者たちに未来の日本を生きるヒントを届けたという思いで、第一線で活躍している時代のオピニオンリーダーと大学生が直接議論を交わす特別授業「未来授業」を開講し、その模様を放送しています。

今年はノーベル物理学賞・益川敏英氏、国際政治学者・姜尚中氏、教育学者・齊藤孝氏、生物学者・福岡伸一氏、新エネルギー力学専門家・大屋裕二氏、NPO 法人「森は海の恋人」代表・畠山重篤氏、東日本大震災復興構想会議委員でもある内館牧子氏を迎え、名古屋、仙台、福岡、東京の 4 都市で開催しました。

11 月 3 日(木・祝)、5 日(土)に、脳科学者茂木健一郎、坂本美雨の司会で、「FM フェスティバル 2011 未来授業～明日の日本人たちへ～」として放送しました。

活発な議論が交わされる授業となり、参加した大学生や放送を聞いたリスナーからは、Twitter、facebook、mixiなどを通じて「知的好奇心に飢えている方には必見!」「学べることが多い」など、授業内容に関する多くの反響が寄せられました。

#### ◎日経 BP「企業メッセージ調査」について

TOKYO FM は、2008 年より、コミュニケーション・キャッチフレーズ「80.Love=エイティ・ポイント・ラブ」を展開しております。これは、オリジナルな視点(ポイント)で、愛情・思いやり(ラブ)を発信する、という編成方針に基づくものです。

この度、10 月に発表された日経 BP コンサルティングの「企業メッセージ調査」において、この「80.Love」が、高い好感度である、という結果が発表されました。

本調査は、一般消費者の企業メッセージへの好感度を測定する目的で、345 社のメッセージについて消費者 2 万人以上を対象に 7 月に実施されました。「将来性」「躍動感」「信頼性」「ユニークさ」という項目のうち、当社は「躍動感」で 11 位、「ユニークさ」で 6 位にランキングされました。

超多メディア時代にアイデンティティの明確化が求められる中、TOP20 の順位ではメディアとしては唯一当社がランクインし、当社のキャッチフレーズが、受け手のイメージとシンクロして浸透してきたことを示すものと考えています。

## ◎ビデオリサーチ MCR(Media Contact Report)によるリスナー特性分析

ビデオリサーチ社の「MCR(Media Contact Report)」は、一般生活者の「メディア接触」を中心に、毎年1回、行っている調査です。

2011年度の本調査について、「よく聞くラジオ局」において、TOKYO FMは各局比較でナンバー1という結果になりました。

また、「よく聞くラジオ」=TOKYO FM と回答した人は、情報感度、情報摂取意欲、行動力が他局リスナーに比べて高く、特に男性に顕著な傾向が見られました。この結果から、TOKYO FM にはマーケットリーダーとしての資質があるリスナーが多い、と考えています。また、TOKYO FM リスナーには、地球環境への関心、行動への意識が高いという傾向も出ております。

## ◎被災地支援プロジェクト「TOKYO FM 子ども未来図書」

TOKYO FM では、地震で大きな被害を受けた被災地でも子どもたちの好奇心を絶やしたくないという思いから、東京海上日動火災保険株式会社の協力のもと、10月から約1ヶ月にわたり、「あなたが子どもたちに贈りたい本」の寄贈を、『クロノス』(月曜日～金曜日 6時から8時30分)を中心にリスナーへ呼びかけました。リスナーから多くの本が寄せられ、先日、11月5日(土)、6日(日)に、その一部を、岩手県大槌町と宮城県名取市の図書館へ、『クロノス』スタッフの手で直接届けることができました。

本プロジェクトには、なでしこジャパンキャプテン澤穂希選手をはじめ多くの著名人にも賛同いただき、本が寄せられたほか、現地での寄贈式には女優の室井滋さんも同行し、子どもたちへの「読み聞かせ」も行いました。

4月～9月には、同じく『クロノス』で、リスナーから募集した1万冊以上の「図鑑」を被災地へ直接届ける活動を行っており、今後も、被災地を応援する活動を継続的に続けてまいります。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○MCR リスナー特性分析結果について、TFM リスナーの「マーケットリーダーとしての資質がある男性像」は、先日、自分が「未来授業」で公開授業を開催した際に抱いた実感と重なった。集まった 30 人程度の学生のうち 28 人が男子学生で、中には自分たちで起業を考えている学生もいた。震災後をテーマとした講義だったが、震災のことだけではなく自分たち自身・20 代前半が抱える暗黒からどう飛び出していくか、という視点で、積極的に参加していた。

○未来授業について、FM 局がこのように「授業」を続けていくことには意味があると思う。

○未来授業について、TFM は流行りものを流すだけではなく、ぜひ、今までのように、芯のある、知的好奇心を刺激する番組を作り続けて欲しい。

○未来図書プロジェクトについて、『スクールオブロック！』を通じて送った漫画の数は？ 銘柄などは決めていたのか？

■送った漫画の数は 26,000 冊。漫画の銘柄(ジャンル)の指定はしなかったが、「自分が一番大切にしている、家の中にある宝物の漫画」や、「元気や勇気がわく漫画」の寄付を、主に 10 代に対して呼びかけた。

○未来授業について、先日、あるイベントで豪華な講師陣と公開講演を行ったが、講演後、Twitter に、講義を聴いて感動した、などという反響が多く寄せられた。若い人達は本を読まない代わりにアカデミックな講演を聴きたがっていると感じた。

○日経 BP「企業メッセージ調査」の結果について、ラジオの果たすべき機能を考える上で重要な調査結果だ。聴取率には結びついていないようだが、むしろ結びつかなくて良い。「企業メッセージ評価」のような新しい軸での番組・ステーションに対する多面的に評価されるよう、発信し続けて欲しい。

○音楽よりも未来授業のような講義を放送すべきという意見もあるが、最近、「気持ちいい音楽」を特集した雑誌が7万部も売れた。雑誌での音楽特集は通常あまり売れないものだが売れて驚いた。マーケットとしての音楽はやり方次第では依然強いと思う。

## 議題2:番組試聴

【番組名】 「ディア・フレンズ」(約19分)  
パーソナリティー：坂本美雨

【放送日時】 2011年10月3日(月)11:00～11:30 全国38局ネット  
※新パーソナリティー起用後の初回放送  
ゲスト：分子生物学者・福岡伸一氏

### 【番組概要】

今年度の10月改編にて、午前帯の看板ワイド「ディア・フレンズ」の出演者変更を行いました。10月以降の編成指針として、「心地良い存在感」という、新たなコンセプト・ワードを定めました。これは、従来より番組作りの基盤としている“時世とのリンケージ”や、“知的好奇心を喚起する番組の発信力”を引き続き強化しつつ、さらに、“快適な音像空間を意識する”という、「耳触りと聴き応え」の両得を狙うための指針となります。

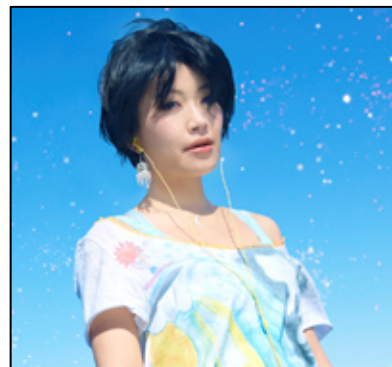
この「心地良い存在感」が目標とするところは、既に獲得出来ている高いリーチを引き続き拡大すると共に、ウィークポイントである継続聴取(分数)をさらに伸ばす事にあります。その足がかりとしまして、まず平日のセッツインユースが最も高い11時台の看板ワイド「ディア・フレンズ」の出演者変更を行い、新たに「坂本美雨」を起用致しました。

知的好奇心に溢れ、さらに、リスナーの聴取意欲を生理的に阻害しない、歌声のような語り口を合わせ持つ坂本美雨を起用する事で、“心地良い存在感”の具現化に挑戦して行きます。ランチタイムに話題となるゲストを迎え、初回は『生物と無生物のあいだ』と、『動的平衡 生命はなぜそこに宿るのか』がベストセラーの分子生物学者で青山学院大学教授の福岡伸一先生をお迎えしました。2日間にわたり福岡先生をお迎えしましたが、今日はそのうちの初日分をお聴き頂きます。(約19分)

今までのゲスト：三池崇史(映画監督)、小林 聡美(女優)、久保ミチロウ(映画『モテキ』監督)、  
鳥越俊太郎(ジャーナリスト)、沖仁(フラメンコギター世界一)、高橋優(ミュージシャン)、  
サカナクション山口一郎(ミュージシャン) など

### 《坂本美雨 プロフィール》

父親は坂本龍一、母親は矢野顕子という、ミュージシャンの両親の元に誕生。高校卒業までニューヨークで過ごしたため、バイリンガル。高校時代には美術を専攻。1997年より日本での音楽活動を開始。大の映画好きであり、ダンス好き、旅好き、読書家にして愛猫家。さらに演劇への造詣も深い。シンガーソングライターおおはた雄一とのユニット『おお雨』としても活動している。THE JETZEJOHNSON の藤戸じゅにあとのエレクトロユニット『NAKED LAMP』名義での活動も。また、演劇の舞台出演やダンス公演なども行っている。



## 【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 新パーソナリティー坂本さんは素敵な声。ふんわりとした語り口がいい方向へいって欲しい。番組としては特別良いところもないし突っ込みどころもないが、ゲスト・福岡先生の話は面白かった。誰がゲストになるかが大きなポイント。
  - おだやかで、抑揚が何もなくて聴きやすかった。もう少しスピード感があつたら、より話が弾むのではと思った。坂本さんの今後に期待したい。  
他の番組についても、TFM でなければ出来ない番組を作って欲しいと思っており、『ディア・フレンズ』は J-WAVE ではできない番組。もっと伸ばして欲しい。
  - ゲスト福岡さんのコメントに一部、ジェンダー議論を呼びそうな部分があり、坂本さんのフォローがほしいと思った。  
また、坂本さんはもっとくだけた口調で話しても魅力的だと思う。彼女は知識や人脈が豊富なので、自分なりに調べたことを話してもいい。
  - 坂本さんの声は音楽に乗ると心地よい。トークだけでは抑揚がなさすぎる。
  - 坂本さんは思慮深く、社会への考えを持っている人。その魅力を生かしてほしい。
  - 福岡さんの分子生物学的視点からの“女性論”は一部の人からは差別的に聞こえる可能性があるため、パーソナリティーからの気遣いの一言があってもよかった。
  - 耳触りがよく「心地良い存在感」というコンセプト通りの番組。しかし「聴き応え」はゲスト次第のため、ゲストの人選が重要。
  - とても素晴らしい番組、パーソナリティーも内容も、知的好奇心を満たすことができる番組で、続けて欲しい。坂本さんの声は、心地よい空間を作ることはできるが、聴取者に飽きられないような工夫が必要かもしれない。  
福岡さんの話は聴き応えがあり、「継続聴取」に効果があつたと思う。個人的にも興味を持ち、継続聴取していた。  
その一方で、個人的にはもう少し突っ込んだ議論も期待してしまった。分子生物学的に遺伝子が男と女を作った・・・という考えに対して、社会学・文化人類学の側面で、社会と文化が作った男と女、という方向性のつつこみがあつても面白かった、と思った。
  - ゲストの人選が鍵だが、今までのゲストは？
- 映画監督の三池崇史さんや久保ミチロウさん、女優の小林 聡美さん、ジャーナリストの鳥越俊太郎さん、ミュージシャンの高橋優さんや、サカナクションというバンドの山ロー郎さんなど。

○前パーソナリティー・赤坂さんの時と比べて、ゲストの人选も変わったが？

■今までは音楽のゲストに偏りがちだったが、ゲストの幅を広げる意味も含め坂本美雨さんを起用した。

○坂本さんが雲のような存在だと色々なゲストの話にひっかかりにくってしまうので、ゲストにとって話しがいいのある相手に成長して欲しい。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放 送:番組「JOGLIS RUN GIRLS SUNDAY」  
11月27日(日)5:00～7:30 放送
- ② 書 面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

次回審議会 12月6日(火)に開催することを決めた。